学校番号	３１３

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新家庭基礎２１　（実教出版）						
副教材等	ニューライブラリー家庭科２０２０　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

消費生活に関する事項、食生活および子どもの発達と保育、住生活に関する事柄を中心として生活の様々な事象や課題と実習や体験学習を通して考える。科学的な理解に基づいた知識や技術を身につけると同時に、多様な考え方があることを知り、自分の考えを形成し、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族。･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・ノートやレポートの記述 ・授業・実習に向かう姿勢 ・発表する姿勢	・ワークシートの記述 ・レポートやホームプロジェクトでの成果の発表 ・定期考査の結果	・実習の技能 ・実習のレポート ・体験学習などの観察記録の記述 ・調理実習などの実習記録の記述	・定期考査の結果 ・ワークシートの記述・実習の感想 ・レポートの作成

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期第1中間	経済的に自立する	・ライフコース丞には様々な経済的リスクがあることを知り、その備えとして、貯蓄や保険、ローンなどの必要性について考える。 ・2 年後にはお世話になる可能性が高い大学等の奨学金について考える。				○	d:ライフスタイル、ライフコースを見通した経済活動の重要性、主体的な資金管理とリスク管理の必要性を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
	食生活をつくる	・食生活の安全と衛生		○		○	b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断している。 d:食品衛生の学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		調理実習 「スパゲティ・スープ・マフィン」 スパゲティーソースの作り方をマスターする。乳製品を使ったスープ類の作成のコツを習得する。基本のお菓子の作り方を習得する。			○	○	c:安全と衛生に配慮した調理ができる。調理の基本技術を身に付け、資源・エネルギーに配慮した調理ができる。 d:食品の栄養的特質、調理状の性質、調理法について科学的に理解している。	授業観察 実習計画 実習レポート 定期考査
前期第2中間	子どもと共に育つ	・親として共に育つ パートナーシップを築き、共に協力して家庭をつくることの意義や重要性を認識する。 ・子どもの発達と保育 子どもの発達の特徴を知り、家庭保育や集団保育の重要性について理解する。 ・保育園・こども園実習 近隣の保育園やこども園に行き、園児の様子を体験的な活動を通して知る。	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:子どもの発達や保育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つけて課題を見いだし、その解決を考える。 c:実践的・体験的な活動を通して、子どもと適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査

	食生活をつくる	・調理実習「ガパオライス・二種類のゼリー」 東南アジアで食される挽肉料理であるが、日本でも定着しつつあるので、実際に調理し、味わう。 寄せ物に使用する粉寒天とゼラチンの扱い方の違いを理解する。			○	○	c:安全と衛生に配慮した調理ができる。調理の基本技術を身に付け、資源・エネルギーに配慮した調理ができる。 d: 食品の栄養的特質、調理状の性質、調理法について科学的に理解している。	授業観察 実習計画 実習レポート 定期考査
後期中間	子どもと関わる	・子どもの発達と保育 子どもの食生活に着目し、バランスの良い食事とは何かを子どもが理解するために、人形劇を使って、食育指導をする。 ・保育園・こども園実習 近隣の保育園やこども園に行き、園児の様子を体験的な活動を通して知る。 と同時に、グループに分かれて作成した人形劇(ペープサート)を園児に見てもらい、食生活で大切なことを伝える。	○	○	○	○	a:子どもの発達や保育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つけて課題を見いだし、その解決を考える。 c:実践的・体験的な活動を通して、子どもと適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査
	食生活をつくる	・調理実習「二種類の餃子とチョコパイとアップルパイ」 食べることが多い焼餃子だけでなく、水餃子も作り、手作り餃子の作り方を習得する。パイシートを使って簡単にパイ作りができることを体感し、日常の食生活にも生かす。			○	○	c:安全と衛生に配慮した調理ができる。調理の基本技術を身に付け、資源・エネルギーに配慮した調理ができる。 d:食品の栄養的特質、調理状の性質、調理法について科学的に理解している。	授業観察 実習計画 実習レポート 定期考査
後期末考査	経済的に自立する	・ライフコース丞には様々な経済的リスクがあることを知り、その備えとして、貯蓄や保険、ローンなどの必要性について考える。 ・20歳になれば、掛け金の支払い義務が生じる国民年金や大学等の奨学金について考える。				○	d:ライフスタイル、ライフコースを見通した経済活動の重要性、主体的な資金管理とリスク管理の必要性を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査

	冬休みの課題	・冬休みの課題（年金について）の課題の進めたについて理解する。	○				a:冬休みの課題に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	調査委研究レポート
	食生活をつくる	・調理実習「パエリアとブラウニー」 ピラフ類を作る時のお米の炊き方を習得する。チョコレート菓子を作る時のコツを習得し、焼き菓子の作り方を理解し、習得する ・調理実習「二種類の卵料理」 厚焼き卵と薄焼き卵（錦糸卵）を作り、作り方を習得し、日頃の食生活に活かす。			○	○	c:安全と衛生に配慮した調理ができる。調理の基本技術を身に付け、資源・エネルギーに配慮した調理ができる。 d:食品の栄養的特質、調理状の性質、調理法について科学的に理解している。	授業観察 実習計画 実習レポート 定期考査
	自分らしい人生をつくる	・自分を見つめる 青年期をどう生きるか。 自己を知る。 セクシャリティについて考える。	○	○		○	a:青年期の生き方やセクシャリティについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b;青年期にある自分を見つめ、またセクシャリティについて考え、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 d:青年期の課題、セクシャリティについて理解し、人の一生を自分の問題としてとらえるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。